令和８年度　第２回　佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会

会　議　録

〔会議概要〕

日　時	令和８年８月２１日（金）　午前１０時００分から
場　所	佐倉市役所 議会棟 第３委員会室
会議次第	１．開会 ２．福祉部長あいさつ ３．議事　　――　会議の公開の確認　―― （１）令和７年度 高齢者福祉・介護計画の進行管理・点検評価について （２）令和７年度 介護保険事業の実績について （３）第１０期佐倉市高齢者福祉・介護計画の骨子(案)等について ４．その他 ５．閉会
出席委員 （１１名）	会　長　　岩淵　康雄　（医師） 副会長　　鳴海　和久　（社会福祉協議会） 委　員　　吉武　君枝　（民生委員・児童委員） 〃　　田仲　知代　（ボランティア団体） 〃　　川﨑　順子　（高齢者クラブ） 〃　　佐川　章　　（施設介護サービス事業者） 〃　　石原　茂樹　（公募市民） 〃　　岡田　恭比呂（公募市民） 〃　　鴇﨑　金次　（公募市民） 〃　　藤倉　昇　　（公募市民） 〃　　宮村　直樹　（公募市民）
欠席委員 （３名）	委　員　　矢野　明宏　（学識経験者） 〃　　森本　功　　（歯科医師） 〃　　石原　隆広　（在宅介護サービス事業者）
事務局	福祉部長　　和田　泰治 高齢者福祉課長　　村上　一郎 高齢者福祉課　生きがい支援班長　副主幹　佐久間　学 包括支援班長　副主幹　岡本　崇広 包括ケア推進班長　副主幹　曽田　寿江 包括ケア推進班　主　査　島村美恵子 介護保険課　介護給付班長　主　査　近藤　隆之 介護給付班　主査補　郷渡　裕之 介護資格保険料班長　主　査　吉田　利哉 介護認定班長　主　査　菅原　伸吾 高齢者福祉課　生きがい支援班（書記）主査補　三須　裕文 （書記）主任主事　田中　美帆
その他	傍聴者　０名

〔発言要録〕

発言者	内　　容
高齢者福祉課長	【 開会 】 本日は、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。 進行を務めさせていただきます、高齢者福祉課長の村上でございます。よろしくお願いいたします。 それでは、定刻となりましたので、「令和８年度 第２回 佐倉市 高齢者福祉・介護計画 推進懇話会」を開会いたします。 本日、介護保険課　小林課長が所用のため欠席をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 本日の会議は、会議録作成のため録音をしておりますので、あらかじめご了承ください。 また、円滑な会議進行にご理解とご協力をお願い申し上げます。
高齢者福祉課長	【 資料確認等 】 はじめに、会議に使用する資料の確認をお願いいたします。 資料は、本日配布させていただきました資料３－１：次期佐倉市高齢者福祉・介護計画の骨子案、資料３－２：同じく施策体系、資料３－３課題整理の資料、そして事務局職員出席者名簿でございます。 事前にお送りした資料として、会議の次第、資料１：令和７年度高齢者福祉・介護計画の進行管理、点検評価に関する資料、資料２-1：令和７年度介護保険料収納状況に関する資料、資料２－２：令和７年度介護保険事業の実績に関する資料でございます。 資料の不足等はございませんでしょうか。
高齢者福祉課長	【 福祉部長あいさつ 】 続きまして、福祉部長あいさつでございます。 〔福祉部長あいさつ〕
高齢者福祉課長	ありがとうございました。 それでは、ここからは、議事となりますので、佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会設置要綱　第７条第１項の規定に基づき、会長に議長をお願いいたします。
会長	【 会議の成立等 】 規定により、会長が、会議の議長を務めることとなっていますので、これより私が進行をさせていただきます。 まず、委員の出席状況でございます。当懇話会の設置要綱第７条第２項に「委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない」とあ

発言者	内　　容
	ります。本日は、矢野委員、森本委員、石原（隆）委員が所要により欠席ですが、委員の過半数が出席していますので、本日の会議は成立いたします。
会長	次に、本日の会議の内容は、会議公開することにより公正、円滑な議事運営が阻害されるものに当たらないため、会議は公開とし、傍聴を認めることといたします。よろしいでしょうか。 〔「異議なし」の声あり〕
	【 議 事（1）】
会長	それでは、議事１「令和７年度 佐倉市高齢者福祉・介護計画の進行管理、点検評価について」、事務局の説明をお願いします。
高齢者福祉課（佐久間）	高齢者福祉課 生きがい支援班長の佐久間です。 議事１「令和７年度高齢者福祉・介護計画の進行管理・点検評価について」を説明いたします。資料１をご覧ください。 〔以下、資料１を説明〕
会長	ここまでの説明に関して、ご意見、ご質問があればお願いします。 なお、発言の際には委員名もお願いします。 〔質疑応答〕
Ａ委員	資料１の１ページの高齢者人口の推移のところで、令和８年度の推計が掲載されていますが、65歳以上人口を見ると頭打ちなのかなと思ったのですが、これはこのとおりでということでよろしいでしょうか。
高齢者福祉課（佐久間）	佐倉市の人口ピラミッドとしては、概ね今の75歳以上が増えてきたのは、団塊の世代が75歳に到達したからということになります。これから次のボリュームゾーンになるのが団塊ジュニアと言われている世代になりますので、そこまで下っていくような状態になり、それからまたもう一度、今後上がっていくことになります。
Ｂ委員	資料１の３ページを見ますと、ＣやＤは15施策ということですが、この要因はどういうものになりますでしょうか。
高齢者福祉課	各施策にまたがるものなので、一律にこの要因というものではないと

発言者	内　　容
（佐久間）	考えておりますが、例えば、資料１の８ページ以降を見ていただきますと、10番と15番が今回Ｃとなっているものになります。コミュニティセンターの管理運営事業の方については、新型コロナウイルス感染拡大による利用制限を機に大幅に利用が減少したものになりますが、その後も利用が回復していないというような状況ですとか、シルバー人材センターの入会説明会の方に来る方が少なくなってきているという点につきましては、定年延長等の状況から高齢者の就労が進み、数字が伸び悩んでいるのかなというふうに考えております。18番の敬老祝金贈呈事業につきましては、そもそもの計画値が適正だったかどうかというところは、今後検討させていただきたいと考えております。
高齢者福祉課（曽田）	23番の介護予防教室につきましては、開催回数が確かに減ってはいるのですが、最近の傾向を見ますと、一般的な介護予防の出前教室が減っている分、地域の通い場等の団体への支援に力を入れているというところでございます。今までは一般介護予防の出前健康教育や講座が多かったのが、少しずつ通い場の団体支援のほうにシフトしてきており、そういった要望がとても増えているという印象があります。また、介護予防のボランティアの方々は担い手不足の現状がございますので、その影響もあるのではないかと思います。 33番の通所型短期集中予防サービスにつきましては、かなり数が少なくなっていますが、この短期集中予防サービスの方を希望している方がサービス利用を希望しているけどもサービスを受けられないということではなく、同じようなサービスで介護保険事業所によるサービスの利用者が増え、その分こちらが使われないという形になっております。通所型短期集中予防サービスは、３ヶ月間限定という形になりますので、継続した利用が必要となる方が多く、介護保険事業所の方に直接、繋いでいる方も多いので、この辺りで数が伸び悩んでいるところになっております。 50番の見守りに関する啓発パンフレットにつきましては、実績値に誤りがあり、公共施設や医療機関、薬局等、250ヶ所に配布をしておりましたので、申し訳ございませんが訂正させていただければと思います。 67番の認知症地域支援・ケア向上事業推進補助金につきましては、昨年度、オレンジカフェが増えまして、５ヶ所だったのが９ヶ所になっています。そのうち２ヶ所がこちらの補助金を使っておりますが、他のところですと、本来だったら補助金を使っていただいても構わないのですけれども、無償でオレンジカフェをやってくださっているところがありますので、団体数としては伸び悩んでいますけれども、実際にはサービスが低下しているということでは無いというところでございます。

発言者	内　　容
Ｃ委員	やはりコロナ禍の３年間のインパクトがとても大きいと思います。特に高齢者の方の意欲、活力といったものに影響が出ていて回復していない部分があります。 具体的には、中断されていた100円喫茶が徐々に復活してきていまして、場所によっては参加者の数が戻ってきているところ、それから過去以上に増えているところ、特に男性の参加者が増え出しているところもあって、かなり変化をし始めていますが、サービスを提供する側がやはり高齢化してきていること、なり手が少なくなってきているという事実があります。これは、一気に回復するのは難しいのかなというふうに思っています。地域活動への参加については、高齢者福祉課だけではなく、我々地域も一緒になって考えていくべきことだと思います。 また、認知症についても、養成講座等を実施していますが、どうしても他人事になってしまって、自分事としてとらえられていないように思います。今後、団塊ジュニアの層が増えてくると、ますます認知症者は増えますから、我が身のこととしてとらえていくような働きかけをしていく必要があると思います。民間ベースでも地域ベースでも、自分事として考えていくように働きかけていく必要があるということを切実に感じます。
Ｄ委員	評価が二重丸になっている指標の説明について、表現の工夫が欲しいなと思います。例えば、114番や120番は、前年度と比較して多少変化が見られますので、説明の仕方を工夫してあると思います。ところが、57番、64番、65番、78番、79番、80番から83番、98番、116番、126番、127番は説明が前年度と同じになっていますので、これが本当に二重丸なのかと疑問に思うような説明になっています。少し、表現を工夫していただければ良いかと思います。
高齢者福祉課 （佐久間）	今後の業績評価のやり方などについては、今いただいたご意見を参考とさせていただいて、今後、生かしてまいりたいと思います。
Ｅ委員	９ページの各種公共施設における各種活動の推進という項目の中で、コミュニティセンター管理事業は新型コロナウイルス感染拡大時に利用が大幅に減少しており、活動を止めてしまった団体も多く、実績値は計画値に及んでいないということですが、一方地域福祉センター管理事業の方では、新型ウイルスが５類に移行したので増加傾向で推移しているという記載になっています。この違いは何でしょうか。
福祉部長	施設によって設置目的が異なるため、その中でどうしても回復しているものとそうでないものの違いがでているかと思います。それぞれ各担

発言者	内　　容
	当課から実績を集約しているものですが、例えば、地域福祉センターは基本的に福祉団体の方等が積極的に活動を増やしていこうとしているので回復の傾向があり、コミュニティセンターはやはりまだコロナ禍で一旦離れた利用者が戻ってこないという状況がまだ続いているものと思われます。
Ｅ委員	担当課から実績を集約しているということですが、２年続けて同じ文言の説明を良しとしているというところで、チェックしていないのではないかなと思います。先ほどのご意見のように、担当課に任せるだけではなく説明の表現は工夫をしなくてはならない部分だと思います。
Ｆ委員	７ページの中段に、認知症にやさしい佐倉の推進と書いてありますが、小中学生や高校生に向けた養成講座の拡大のために広報周知が積極的に進めていく必要があるという部分について、具体的に説明をお願いします。
高齢者福祉課（曽田）	やはり学校によって毎年依頼してくださる学校もあれば、全く依頼のない学校もございますので、学校への周知というところでは、校長会議や教頭会議等に出席をしてお声掛けさせていただいております。少し期間が空いてしまっていますので、また周知をしていきたいと考えております。 また、今年度は保険会社の方とお話をする機会がございまして、保険会社の社員の皆様に認知症サポーター養成講座を実施させていただいております。保険会社の方は地域を回ることが多いということで、認知症サポーター養成講座で学んだ知識を使って、見守りをしていただけるようお声がけをさせていただいております。
Ｆ委員	例えば、学校とは別なところとして、コンビニエンスストア等でもこの広報周知というところを取り組んでいただければと思います。 アルバイトの店員の方は、高校生や大学生等の若い方が多いですが、コロナ禍などの経験をしまして、あまり話さないという方が非常に多いです。そういった小売業、コンビニエンスストアで優しい言葉で接客しましょう、というようなことを取り入れていただけると良いと思います。よろしくお願いいたします。
Ｄ委員	高齢者の生きがいとは何でしょうか。市の施策としては、高齢者への情報発信、IT支援、学習機会の確保、活動機会の確保、敬老事業の推進等が挙げられています。 コロナ禍があって意欲、活力が下がってしまったり、受け身になって

発言者	内　　容
	しまったりしているなかで、その進捗状況についてはどういう評価をされるのか、そこを補正するような何か指標があれば良いなと思います。
福祉部長	高齢者の生きがいとは何かと非常に難しい定義だと思いますが、いろいろな施策を展開させていただいておりますので、次期計画で検討したいと思います。
会長	議事１については、よろしいでしょうか。 貴重な意見だったと思いますので、次期計画に活かせるよう、ぜひよろしくお願いします。
	【 議 事（２）】
会長	では次に、議事２「令和７年度 佐倉市の介護保険事業の実績について」、事務局の説明をお願いします。
介護保険課（吉田）	介護保険課の吉田でございます。資料２－１をご覧ください。 令和７年度介護保険料収納状況について、説明させていただきます。 〔以下、資料２－１を説明〕
介護保険課（吉田）	続きまして、資料２－２をご覧ください。 令和７年度介護保険事業の実績について、ご説明させていただきます。 〔以下、資料２－２を説明〕
会長	ここまでの説明に関して、ご意見、ご質問があればお願いします。 なお、発言の際には委員名もお願いします。 〔質疑・応答〕
Ｇ委員	不納欠損額は、近隣の自治体と比較してみてどうでしょうか。
介護保険課（吉田）	近隣自治体についての情報がなく確認が取れていませんが、佐倉市だけの傾向で言うと、昨年度は多かったかと思います。不能欠損の額は年度で浮き沈みがあり、特にパターンが無いのでなかなか読めない部分があります。

発言者	内　　容
Ｇ委員	やはり真面目に払っている人が多いという印象でしょうか。
介護保険課（吉田）	仕組みとして、９割以上の方が特別徴収というかたちになっていまして普通徴収の割合が少ないので、基本は年金の受給者になると強制的に徴収されているというところが大きいかと思います。
Ｅ委員	地域密着型サービスの夜間対応型訪問介護が、ずっとゼロなのは何故でしょうか。
介護保険課（吉田）	事業所が廃止になっていて、利用できる環境が無いという状況です。
Ｇ委員	最後のページの一番下に134億7000万円とありますが、収納額と見合っているのでしょうか。
介護保険課（吉田）	国、県の税金で賄う部分と、社会保険の中でも健康保険料の中に介護保険料が含まれているものになります。
会長	議事２については、よろしいでしょうか。
会長	【 議 事（３）】 では次に、議事３「第１０期佐倉市高齢者福祉・介護計画の施策体系（案）等について」、事務局の説明をお願いします。
高齢者福祉課（佐久間）	高齢者福祉課の佐久間でございます。 まず、次期計画の策定に向けた課題整理のシートについて、説明をさせていただきます。本日お配りした資料３－３をご覧ください。 〔以下、資料３－３を説明〕
高齢者福祉課（佐久間）	続きまして、資料３－１をご覧ください。 次期計画の骨子案について、説明をさせていただきます。 〔以下、資料３－１を説明〕
高齢者福祉課（佐久間）	続きまして、資料３－２をご覧ください。 次期計画の施策体系案について、説明をさせていただきます。

発言者	内　　容
	〔以下、資料３－２を説明〕
高齢者福祉課（佐久間）	説明は以上となりますが、委員の皆様方には、当日の資料配布となっていましましたことをお詫びいたします。 懇話会終了後、１週間を目安に、ご意見等をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。
会長	ここまでの説明に関して、ご意見、ご質問があればお願いします。 なお、発言の際には委員名もお願いします。 〔質疑応答〕
Ｈ委員	2040年問題というものが非常に大きくなっているということが理解できました。 2040年となると、この３年ずつの計画としては４期くらい先のことになると思いますが、第10期を考えるときに、2040年を踏まえたいわゆる長期的な考え方というものが入ってくるのでしょうか。どういう形でそのお考えなのか、そのお考えの一端というのをお示しいただけるのでしょうか。
福祉部長	2040年問題について、各部署で具体的にイメージができているかというと、実際にはそこまでできてないというのが現状でございます。 ただ、佐倉市総合計画の中では人口ビジョンということで、2040年人口の推計がありますので、確実に人口減少が進むだろうという予測はしていますので、なるべく人口減少を抑制できるようにという施策を総合計画で作っています。それはそうとして、人口減少が避けられないので、やはり人口減少に見合った行政サービスの適正化、例えば公共施設の再配置方針がありますが、そういったものをコンパクトにしていかなくてはいけないという大まかな発想はございます。
Ｃ委員	１点目に、2040年問題ということですが、エリア別で高齢化率の予測というのは立てておられるかどうかお聞きします。 ２点目に、資料3－3の課題の整理についてですが、高齢者の生きがいづくりのためにも、移動手段のことを考えていかなくてはいけないと思います。まさに移動したくてもできない状況の方々がこれからますます増えてくると思いますので、市としては具体的に民間の企業、ディーラー等と組んで施策を実施していこうというような試行錯誤がありうるのかどうかをお聞きしたいと思います。

発言者	内　　容
福祉部長	まず、地域別の人口推計につきましては、特にしていなかったかと思いますが、市街化調整区域が多いエリアは今後もその開発が抑制されるので人口が増えていくということはちょっと考えづらいかと思います。 移動支援につきましても、佐倉市は面積が広いので、人口集中エリアのところは良いかもしれませんが、やはり市街化調整区域に住んでらっしゃる方にとっては非常に大きい問題です。都市部と、民間企業の方とも連携をして、総合的に考えていかなくてはならないものと認識しております。
Ｄ委員	課題の整理について、高齢者の生きがい支援についてのコメント、総括が何か１つあると良いと感じました。
Ｉ委員	2040年問題ということですので、やはり特に高校生や大学生にボランティア活動をどんどんしていただくような体制づくりを進めていただき、福祉の種をまくことが重要だと思います。 社会福祉協議会でも夏休みのボランティア体験等をやっていますが、中高生、大学生に声かけして、直接、高齢者施設に行って車椅子を拭く等といったお手伝い、ボランティア活動をしてもらうなど、学生と高齢者との接点をどんどん作っていただいて、お互いに支え合うことの敷居を低くするような福祉教育を計画に盛り込んでいただきたいと思います。介護人材の不足がますます深刻なので、市社協と共同でも良いと思いますので、人材を育てるという気持ちで考えていただきたいと思います。
福祉部長	介護人材の育成、福祉教育が必要という点につきましては、地域福祉計画の方でも同じようなご意見をいただいておりますので、具体的な施策として次期計画に上げられるかどうかは十分検討したいと思いますが、重要な課題として何か対策が打てるように考えてまいりたいと思います。
Ｃ委員	高齢者社会では、多世代交流、また高齢者だからといって、してもらうだけでなく、し合う関係を作るという点が重要だと思います。 多世代交流をいかに作っていくかということについては、市にお任せではなく、地域としてやっていく必要があるだろうと思います。 そのためには自らできることをやって、お互いに助け合っていくという意識改革を次期計画の中でもやっていかないと、受け身の市民になってしまうのではないかなと思います。
Ａ委員	2040年問題ということで、生産年齢人口が減るということは確定して

発言者	内　　容
	いるわけなので、もう現状のサービスを維持することは難しいのだと思います。そこで今、介護施設では外国人の手を借りないとやっていけないような状況で、すごく力になってくれているところです。この計画からは外れるかもしれませんが、外国の方の力を取り入れた多文化共生など、何か検討されてますでしょうか。
福祉部長	総合計画の中には、多文化共生社会に関する内容があります。こちらの高齢者福祉・介護計画の中で記載するものかどうか何とも言えませんが、ご意見を参考として検討させていただきたいと思います。
会長	【 議事終了 】 以上で本日の議事はすべて終了しました。 ご協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。
高齢者福祉課長	【 その他 】 岩淵会長には、議長をお務めいただきありがとうございました。 ここで、事務局から事務連絡がございます。
介護保険課（郷渡）	介護保険課の郷渡でございます。私からは、令和８年度施設整備法人の公募の結果について報告をさせていただきます。 〔以下、施設整備法人の公募の結果について報告〕
高齢者福祉課（佐久間）	高齢者福祉課の佐久間でございます。事務連絡をさせていただきます。 今後、本日の会議録を作成いたします。作成した会議録は各委員の皆様に送付させていただきますので、ご確認をお願いいたします。 次に、第３回懇話会の開催を、１０月２７日（火）午前１０時から予定しております。議事、会場等の詳細が決定いたしましたら、ご連絡をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 終わりに、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査をはじめとする各種調査の報告書について、現在、最終の取りまとめを行っておりますので、もうしばらくお時間を頂戴いたします。整い次第、各委員の皆様に送付させていただきます。以上です。
高齢者福祉課長	【 閉 会 】 本日、委員の皆様には、お忙しい中を会議にご出席いただきまして、ありがとうございました。 それでは、これにて「令和８年度 第２回 佐倉市 高齢者福祉・介護

発言者	内　　容
	計画 推進懇話会」を閉会いたします。